



慶應義塾大学ビジネス・スクール

プリンシパル・エージェント問題： 契約理論

要旨

本稿は 1990 年代までの標準的なミクロ経済学の内容をまとめた数章からなる冊子の一部である。ここでは、依頼人（プリンシパル）と請負人（エージェント）の間で取り結ばれる相対契約において生じる諸問題を検討する。前半では、別稿「非対称情報下の市場均衡：情報の経済学」を継承し、非対称情報下での次善契約の設計を説明する。後半では、別稿「不確実性下の一般均衡分析：効率的配分の実現可能性」の末尾でその分類を述べた取引費用の存在を基礎に、契約条件に関する曖昧な記述がもたらす取引の非効率性とそれを補完する諸制度の機能について述べる。

本稿は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士後期課程における「経営科学特論」の講義資料として、渡邊直樹（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）によって執筆された。本稿は KBS の出版物であるため、KBS の許可を得ずに本稿を複製、転送、配布することは禁じられている。問い合わせ先：223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学ビジネススクール ケース室, Phone: 045-564-2444, E-Mail: case@kbs.keio.ac.jp Website: <http://www.kbs.keio.ac.jp> Copyright ©渡邊直樹（2018 年 9 月初版作成）